

## ホテルパールガーデン新館

### 宮地電機の力を結集した質の高い仕事

開発営業部 インテリアデザイン課  
課長代理 永易賢一

本館10周年を機に新館を建設された、香川県高松市のホテルパールガーデン様。当時のインテリアデザイン担当室を中心に、電材営業部、住宅営業部、情報開発室、技術センターがワンチームとなって、設計から納入・施工まで宮地電機で担いました。それぞれが得意な分野で能力を発揮し、お互いを尊重し合い、協力し合って完成へと導きました。

#### 一番の目玉は特注照明

ホテルパールガーデン新館の建築コンセプトは『和洋モダンなアート』。施主様からの様々なご要望に応えながら照明プランを練り上げました。照明器具はすべて宮地電機からの提案です。

もっともこだわったのは、最上階にあるバンケットホールの特注の天井照明です。最初に、井上商環境設計株式会社様が

ピラミッドのようなデザインをイメージされ、それを受けて当社で一から図面を描いてゆきました。当初はまさにピラミッドそのものの意匠でしたが、図面を描くに連れ、様々なアイデアが出てきてデザインはますます洗練されてゆきました。

しかし、デザインがある程度決まり、素材や光源を決める段階でいろいろな課題が現れてきました。例えば、器具本体の重量による天井強度の懸念や、照明器具の側面は美しく発光しているのに、直下照度が不足していることなどがシミュレーションで明らかになりました。

これらの課題に対しては、意匠の変更やダウンライトの追加など、私たちから積極的に提案を重ねました。仕様の決定後、製作期間は3ヵ月。宮地電機と井上商環境設計様と大阪の工場の3者で、照度や配光計算、施工に関する綿密な打ち合わせを行いながら完成させました。



#### 光で作出す「遊び心」と「癒し」

この特注照明は電球色から白色に色温度を変えることができ、他にもバンケットホールにはカラー演出ができる舞台照明を備えています。シーンに応じてさまざまな光の演出ができるので、訪れるお客様にも楽しんでいただけたと思います。

また、客室は間接照明をふんだんに採用し、他のビジネスホテルにはない癒しの空間を作り上げています。こうした光の工夫が、リピート客の多さに繋がっている要因かもしれません。

#### 社内のプロフェッショナルが連携

パールガーデン新館プロジェクトでは、一般照明や特注照明に加え、舞台照明、プロジェクターの発注もいただきました。

照明の仕事ならなんでも来いという自負がありますが、プロジェクターの仕事をお願いした時には、即「電材高知支店の技術センターの出番だ!」となり、急遽電話をして「明後日までお願いします」と言って、億単位の見積を出してもらいました。

一見すると、ただ映像が映るだけの設備に見えますが、鮮明に投影するには絶対に必要な距離があって、部屋の大きさや明るさに適したプロジェクターの選定、どの角度から見ても美しく映るよう、設置場所など細かな設計が必要です。技術センターは最適な設置案を図面に起こし、お施主様に伝わりやすいよう視覚化して提案してくれました。音響機器に関しても同様で、安心して任せることができ、仕上がりに確かな信頼を持ってました。「技術センターが絶対的に弱電に強い!」ということを知らなければ、請けることができなかったと思います。

また、今回の現場ではインテリアデザイン課がまとめ役となり器具の選定や納品時期を決め、各部署に指示を出して進めました。高松支店は電設資材を担当してくれました。知識が豊富な担当者は、何かあっても無理とは言わず、必ずどうにかしてくれるという安心感がありました。香川住宅営業課は、一般照明器具の発注や納品管理を担ってくれました。特注品もあり、物量も多かったのですが、倉庫を用意して保管し、現場の進行に合わせて順次納品してくれました。情報開発室が制作した3DCGは、配光のダブルチェックや設計事務所、ホテルとのド

ジュアルコミュニケーションに役立ちました。その仕上がりは、現実と見間違ふほど精巧なものでした。

各部署の業務内容や得意分野を把握するのはなかなか難しいですが、インテリアデザイン課は四国4県の事業所とコラボする機会があるため、それを知り得る立場にあります。各自が力を発揮し、連携しながら着実にプロジェクトを進められたことが、成功の鍵だったと思います。まさに宮地電機ならではの「僕らの仕事」です。

このように各部署の強みを理解し、俯瞰で見える人が増えてゆけば、仕事を横に繋いで、幅広い受注と精度の高い仕事をするので、期待を超える感動をいただけたと思います。

